

環境に配慮した当麻郵便局

～温室効果ガス排出量を大きく削減～



2023年2月27日、当麻町に新しい郵便局が開局しました。これは、日本郵便株式会社が導入を進めている環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の一つです。温室効果ガス排出量を大きく削減したこの郵便局について、日本郵便株式会社北海道支社から提供いただいた資料に沿って紹介します。

（文責：普及協会・菊地）

■日本郵便の「+エコ郵便局」

日本郵政グループは、2021年に策定・公表した中期経営計画「JP ビジョン2025」の中で、2030年度までに温室効果ガスの46%削減（対2019年度比）を掲げました。その具体的な取り組みの一つとして、環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の建設を進めています。

「+エコ郵便局」は、2022年3月に丸山郵便局（千葉県南房総市）が開局されて以降、これまでに8か所に設置され、当麻郵便局は7番目になります（表1）。

表1 「+エコ郵便局」の設置状況

| 郵便局名 | 所在地 | 開局日 |
|------|-----------|------------|
| 丸山 | 千葉県南房総市 | 2022年3月22日 |
| 宗像東郷 | 福岡県宗像市 | 2022年11月7日 |
| 糸崎 | 広島県三原市 | 2022年12月5日 |
| 伊予 | 愛媛県伊予市 | 2023年1月23日 |
| 城山 | 神奈川県相模原市 | 2023年1月30日 |
| 一身田 | 三重県津市 | 2023年2月13日 |
| 当麻 | 北海道上川郡当麻町 | 2023年2月27日 |
| 仙台生出 | 宮城県仙台市 | 2023年3月6日 |

これらの「+エコ郵便局」に共通する温室効果ガス削減策は次の2点です。

- ① 局舎構造材へのCLTの利用（写真1）
- ② 太陽光発電設備の設置（伊予郵便局は2023年度に設置）

郵便局は建物内に無柱の大空間を作ることを目的として、基本的には鉄骨造で建設されてきています。

「+エコ郵便局」にCLTが用いられている理由は次のとおりです。

- ・高層建築物にも使われているように、耐久性の面で一定のメリットが見込める
- ・木質建材であるCLT利用による温室効果ガスの発生抑制
- ・今後、CLTを広く活用できるものかどうかの試行



写真1 建方中のCLTパネル

◆当麻郵便局の概要

当麻郵便局の概要は表2のとおりです。

表2 郵便局舎の概要

| | |
|-------|---|
| 設計 | 日本郵政株式会社北海道施設センター 一級建築士事務所 |
| 施工 | 荒井建設株式会社 |
| 工期 | 2022年3月29日～2023年2月14日 |
| 竣工 | 2023年2月9日 |
| 主要構造 | 郵便局：木造 耐力壁：CLTパネル工法 設備貫通部・開口部周りの壁 ：在来木造工法 機械室：鉄骨造 |
| 延べ床面積 | 475.29m ² |
| 軒高 | 郵便局 4.310m, 機械室 6.710m |
| 最高高さ | 郵便局 5.520m, 機械室 7.432m |
| ボイラー | 定格出力：50kW |

「+エコ郵便局」は、移転新築を予定している郵便局の中から、都市部か地方部か、温暖地か寒冷地か、CLTの製造工場からの距離はどれくらいかといった各種の条件を確認した上で選定されています。当麻郵便局も、これらの確認を経て「+エコ郵便局」として選定されました。

当麻郵便局には、木質チップを熱源とする木質バイオマスボイラーがはじめて導入されています。ボイラー燃料のチップは当麻町森林組合が供給し、1シーズン（11月～4月）当たり60～70m³程度が使用される見込みです。

また、これまでの「+エコ郵便局」では太陽光発電パネルは建物の屋根に設置されていますが、当麻郵便局では積雪期も発電が可能となるよう壁面に設置しています（写真2）。

これらによって、当麻郵便局での温室効果ガス削減効果が一層高められています。

使用されている木材は全て道産材で（表3）、郵便局窓口（写真3）、事務室ともにカラマツが現しとなっ



写真2 機械室の壁面に設置された太陽光発電パネル



写真3 天井、壁にカラマツが現しとなっている窓口

ています。建物の正面が全面木材張りであることと併せ、木造の特色がよく表現されています。また、窓口にある間仕切壁の端面が部分的に現しになっているので、5層5プライのCLTが使用されていることが実感できることも特筆されます。

謝辞

日本郵便株式会社北海道支社の広報担当・布施氏には、建築物の各種データおよび写真をご提供いただきました。防犯、安全を最優先する金融機関の建築物という制約の中でご協力いただいたことに厚くお礼申し上げます。

参考資料

- 1) 日本郵政グループ：JPビジョン2025 ～お客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」を目指して～、2021年5月14日、https://www.japanpost.jp/pressrelease/jpn/20210514_03.pdf。

表3 使用した木質材料の仕様

| 部位 | | 樹種 | 種類 | 使用量(m ³) | 製造(加工)者 |
|----------------------|-------|--------------|---------|----------------------|---------------------|
| 構造材 | 壁 | カラマツ | CLT | 124.39 | (協)オホーツクウッドピア |
| | 屋根パネル | | | | |
| | 梁 | | 集成材 | | |
| | 柱, 梁 | | | | |
| 屋根小屋組 | | カラマツ トドマツ | 集成材, 製材 | 22.79 | (株)ニッショウ |
| 外装・外壁仕上げ 内装・腰壁仕上げ | | カラマツ | 板材 | 1.31 | 下川フォレスト ファミリー(株) |
| 内装・腰壁見切り材 | | ナラ | ひき角材 | 0.62 | 北日本木材(株) |

*) 使用木材は全て道産材